



消費生活相談

注意喚起 花火による 子どものやけどに注意!

相談は
こちらへ...

役場消費生活センター（町民課内）
TEL 0796・36・1941（直通）
たじま消費者ホットライン
TEL 0796・23・1999
※相談無料で秘密は厳守!!

子どもが花火で遊んでいる際にやけどを負ったという事故が発生しています。
国民生活センターでは、医療機関ネットワークに寄せさせた過去5年間で60件あった事故情報をもとに、花火による子どものやけどや着火する危険性に関するテストを行いました。

【主な事例】

- 花火で遊んでいる最中に花火の火をつかもうとして受傷した（1歳6カ月女児）
- 左足の靴に火の粉が移って燃えた（3歳2カ月女児）
- 花火を捨てる前に先端を握ってしまった（2歳10カ月男児）

【テスト結果】

- 向かい風で花火を持つと、火花などによりやけどを負う危険性があります。
- 濡れた地面などに線香花火が落ちると爆ぜる可能性があります。
- 温度が低いように見える燃えかすでも、落下や消火後しばらくはやけどを負うほどの高温でした。



【出展：国民生活センターホームページ】
花火による子どものやけどに注意しましょう

【アドバイス】

- 3歳以下の子どもの事故が多く発生しています。取扱説明書に従い、3歳以下の子どもに持たせることは避け、距離をおいて見せるなどして花火を楽しみましょう。
- 花火が消えたらすぐ水に浸けましょう。温度が低いように見える燃えかすでも、高温の可能性があります。
- 必ずバケツに水をくみ、消火の準備をしてから楽しみましょう。